

製品名: CARKL ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07931**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	SHPK
別名	SHPK; CARKL; Sedoheptulokinase; SHK; Carbohydrate kinase-like protein
遺伝子 ID	23729.0
SwissProt ID	Q9UJH6
免疫原	抗血清はヒト CARKL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

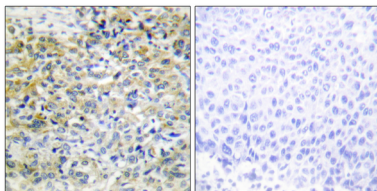
背景

セドヘプトロキナーゼ(SHPK) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内に侵入した糖をリン酸化して細胞膜を介した糖の戻りを阻害するタンパク質群である、いくつかの糖鎖キナーゼと弱い相同性を示す。この新規遺伝子と既知の糖

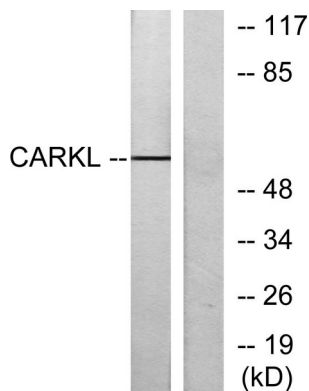
鎖キナーゼとの間の配列変異は、異なる基質、補因子、あるいは他の糖鎖キナーゼと区別する速度論的特性の変化の可能性を示唆している。この遺伝子はシスチン症患者で一般的に欠失している領域に存在することから、シスチン症の表現型の修飾因子としての役割が示唆される。このゲノム領域には、染色体再編成に頻繁に関与する Alu 反復配列も豊富に存在する。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + セドヘプツロース = ADP + セドヘプツロース 7-リン酸,疾患: 共通 57-Kb 欠失を伴うシスチン症患者における SHPK 遺伝子の欠損は、尿中にセドヘプツロースとエリスリトールを蓄積させる。 ,類似性: FGGY キナーゼファミリーに属する。 ,組織特異性: 肝臓、腎臓、脾臓で強く発現する。胎盤と心臓では低レベルの発現を示す。肺と脳では非常に弱い発現を示す。 ,

研究分野

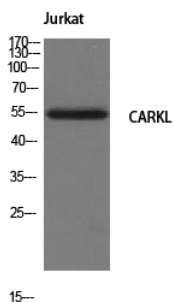
画像データ



CARKL 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



CARKL 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



CARKL ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析